

六、給養衛生

昭和二十年四月迄、二千九百九十九名に於て、六月、七月、八月に於て、千五百名に於て前後、給養を實施せり。

衛生関係に於て、マラリヤ患者、梅毒患者、出た死没者、大部ヲ占メタリ、亦、栄養不良、甚ク死没者之數名出タリ。

七、終戦ノ帰還途ノ始メノ概要

終戦後、自他之体力、回復ニ専念スル共ニ本土帰還途ニ對シテ諸種ノ教育ヲ實施

昭和二十年十二月十三日、宮古島出立

昭和二十一年十二月二十日、浦賀港上陸

戦史資料報告ノ件

昭和二十年十一月三十日

特設陸上勤務第一九中隊第一小隊

支局収容課庶務係御中

首題ノ件別紙ノ通り付申報告ス

10

一、部隊名及部隊履歴、概要、部隊長名

(1) 部隊名 持設陸上勤務隊第九中隊第一小队

(2) 隊長 陸軍中尉 田所正路

(3) 部隊履歴、概要

昭和十九年七月十二日歩兵第一四四聯隊ニ於テ編成完結  
今月二十三日七號出發 今月三十一日明司港出發

八月十二日宮古島ニ到着 今月二十二日中隊本部ハ宮

古島ニ残り第一小队ノミ宮古島出發翌二十三日石垣

島到着爾來復員ニ至ル迄同島ニ於テ兵舎建築築

揚陸 製紙 製炭 製油(燈火用)ヲブ油(汽没船引

上等) 諸業務ニ従事セリ

二、指揮隸屬關係及其變遷、概要

昭和十九年八月一日第三十二軍宮古島守備隊長

、隸下ニ入ル



八月十六日第一十三軍石垣島守備隊長ノ指揮  
下ニ入ル

昭和二十年七月一日台湾中央方面軍石垣守備隊  
長ノ指揮下ニ入ル

三、参加セル主要ナル作戦

自昭和十九年十月十一日 間南西空襲作戦ニ参加 死傷者ナシ

至昭和十九年十月十三日

自昭和二十年四月一日 間天一号作戦ニ参加 戦死一

至昭和二十年六月三十日

四、給養衛生

(1) 給養

自昭和十九年八月二十五日 間ハ米四合ニシテ副食肉ハ相当量ナリシモ

至昭和十九年十月三十日

野菜ハ僅少ニシテ野菜ハ主ニ甘藷ノ葉ヲ食セリ

自昭和二十年四月一日 間ハ米ニ合及甘藷ヲ主食トナシ副食ノ大

至昭和二十年四月一日

半ハ味噌汁ナリ爾來米一合五勺トナリ主食ハ米ヨリ甘

藷ニ移行味噌汁ナク副食ハ概ネ塩汁ニ野草トナレリ

(2) 衛生

昭和二十年六月一日マラリアノ有病地帯ニ侵息セルヲ以テ及病

者諒出一ヶ月、マラリアノ患者有ハ八十名ニ達セルコトニテ月

ニ互ヒリ其ノ他ノ病氣ハ数フルニ足ラザル状態ナリ

五、終戦ヨリ停戦迄ノ行動概要

独立混成第四十五旅團隷下指揮下各部隊ノ自治

態勢ヲ確立シメ製鐵製炭ノ業ヲ担任スル

施設他戦災民家復興ノ為家屋ノ修理及貨物

揚陸等ニ従事セリ

八月十六日第百三十三軍石垣島守備隊長ノ指揮  
下ニ入ル

昭和二十年七月一日台湾第百十方面軍石垣守備隊長ノ指揮下ニ入ル

三、参加セル主要ナル作戦

自昭和十九年十月十一日 至昭和十九年十月十三日 間南西空襲作戦ニ参加 死傷者ナシ

自昭和二十年四月一日 至昭和二十年六月三十日 間天一号作戦ニ参加 戦死一

四、給養衛生

(1) 給養

自昭和十九年八月二十三日 至昭和十九年十月三十一日 間ハ米四合ニシテ副食肉ハ相当量ナリシモ野菜ハ僅少ニシテ野菜ハ主ニ甘藷ノ葉ヲ食セリ

自昭和二十年四月一日 至昭和二十年四月一日 間ハ米ニ合及甘藷ヲ主食トシテ副食ノ大半ハ味噌汁ナリ爾來米一合五勺トナリ主食ハ米ヨリ甘藷ニ移行味噌汁ナク副食ハ概ネ塩汁ニ野草トナレリ

(2) 衛生

昭和二十年六月一日マラリア有病地帯ニ棲息セルヲ以テ及疫病者諒出一ヶ月ノマラリア患者ハ八十名ニ達セリト三月

ニ互レリ其ノ他ノ病氣ハ数フルニ足ラザル状態ナリ

五、終戦ヨリ帰還迄ノ行動概要

独立混成第百四十五旅團隷下指揮下各部隊ノ自治態勢確立ノため製紙製衣製薬製カヲ担任食人施共他戰災民家復興ノ為家屋ノ修理及貨物揚陸等ニ従事セリ